

かけはし

117号

発行者：会長 加藤哲男

編集：広報部 会

発行／宇都宮保護区保護司会 〒320-0864 宇都宮市住吉町10番16号 TEL・FAX 028-633-6771 E-mail: utsunomiya@hogoshikai.jp

宇都宮に思う

宇都宮保護観察所長 林 京子



本年4月1日付で、北海道地方更生保護委員会から宇都宮保護観察所に異動して、この原稿を書いている時点では、はや3月がたちました。宇都宮勤務は今回初めてとはいえ、生まれは埼玉県ですし、関東管内勤務もあったところ

ですが、トータル5年いた北海道にはなかった梅雨や、道路を横断するキタキツネではなくネコの姿に、ああ関東に戻ってきたなと感じる次第です。

転勤先は宇都宮ですと伝えると、ほとんどの方が、ギョウザだねという反応でした。確かに、駅前の通りだけでも、数多くの餃子店が目に入り、そのうちのいくつかでは行列が発生しています。ただ、宇都宮に来て、早速、調査・散策したところ、実はカクテルの街としても有名だったり、大谷石がとれるということで、あちらこちらに味わい深い石の蔵があったり、来るまでは知らなかったLRT（宇都宮ライトレール）なんていうモダンな路面電車が走るようになっていたり、ギョウザだけではないことが判りました。

さて、社会を明るくする運動が、今回で第76回を迎えました。栃木県内で初の取り組みとして、7月に3カ所でイエローライトアップが実施されました。宇都宮市内では、栃木県庁昭和館と、宇都宮タワーで実施されたので、ご覧になられた方もいらっしゃるのではないで

しょうか。私も実際に見に行ったのですが、肉眼で見ると、写真や映像に撮った方が、よりきれいに見えました。また、見かけた方が、なぜ黄色なのだろうという疑問を持たれるであろうと考えていたので、地元の新聞やテレビで取り上げてもらうことができ、趣旨を説明いただけて大変ありがたく思いました。このイエローライトアップをきっかけとして、社会を明るくする運動や、更生保護に興味を持ち、できれば更にもう一步進んで、運動に関わっていただける方が出てくるといいなと思っています。

少しばかり前の話になってしまいますが、5月の宇都宮保護区保護司会定期総会に出席させていただきました。そうしましたところ、あまりの保護司の人数の多さに圧倒されました。普段は、分区や部会ごとで活動されているのですが、それを1つの保護区として運営していくのは、役員の皆様もなかなか大変であろうなと思ったところです。ただ、人数が多いということは、大きな力、多様な力を持っているともいえます。加藤会長も新たな試みをもって運営されていかれるようですので、宇都宮保護司会の基本となる部分（ギョウザ）は、しっかりおさえつつ、実はすでに持っている、秘めている力（カクテル・大谷石・LRT）も全面に押し出し、新たな試み（イエローライトアップ）に挑戦していかれることを期待しております。

日時計

植木屋を通して

昭和二十六年宇

都宮保護区保護司
会が発足した年に

私は、生まれた▼保護司会には特別な思いがある。保護司を拝命して、三十年が過ぎた。今まで何をやってきたらと思う時もあれば、あの時は良くやったと思う事もある▼現在私は家族五人で植木屋を営んでいる。その中で植木の手入れと更生保護が通じる所がいくつかある。例えば、強く伸びる枝を静めようと強く切ると翌年はもっと強い枝を出す▼対象者に悪い所をきつく責めるとその反動がくる。どうにもならない木は伐採すれば済むが、対象者はそうはいかない。ここが更生保護の神髄だと思う。木で言えば、その木の性格や特徴を良く見極め時間をかけて手入れすれば立派な見栄えのする木になる▼対象者と同じ目線に立って、性格や育った環境を見極め、時間をかけて助言指導する事によって立派に立ち直れると思う▼保護司の任期はもうすぐだが、更生保護を思いながら植木屋は、体が続く限り一生続ける。

（陽南分区 豊田善作）

第76回 ～社会を明るくする運動～



中央分区

日 時：7月17日（金）11：50～12：20

会 場：宇都宮市立旭中学校体育館

テーマ：社会を明るくする運動

参加者：生徒514人 教職員51人 保護司15人

今年度は、夏休み前の集会の後“社会を明るくする運動旭中集会”として行われた。

板垣分区長が、保護司の仕事はボランティアで、刑を償った人の社会復帰を手助けする仕事であること。

保護司という制度の始まりは、明治21年静岡で罪を犯した吾作（仮名）が今でいえば刑務所の副所長の川村矯一郎とかかわり、二度と悪いことはしないと誓って社会に出たが、住む所も仕事もなく遺書を残して自殺してしまった。その後、矯一郎は金原明善に相談し現在の保護司制度の基礎がつけられたこと。

今回76回を迎える“社会を明るくする運動”の始まりは、明治24年東京銀座商店会連合会の人たちが、犯罪予防と少年少女の保護を訴えて自主的・自発的に立ち上がったのがきっかけだということ。

まとめとして、①1人が勇気をもって立ち上がる ②みんなで力を合わせる ③ねばり強く続ければ、少しずつ犯罪や非行を減らしていけること。

旭中学校からは是非やり直しを温かく見守り支える人になってほしいと締めくくった。

今日の集会が、これからの学校生活に役立つこと、夏休みに“社会を明るくする運動”の作文を書く一助になれば幸いである。

その後、分区の保護司から各クラスの代表にグッズを手渡し閉会となった。



北部分区

日 時：7月11日（土）16：00～17：00

会 場：ヨークベニマル細谷店

参加者：13人

グッズ配布と共に声かけしながら社明活動をしました。後日、北部区内の篠井・国本・城山・富屋地区市民センターと宝木コミセンへ、パネルとグッズを届けました。

また、各地区の所属団体の活動時に社明活動の説明とともにグッズ配布もしました。

来年は活動する時間（朝早く、もしくは夕方5時、6時）の変更も考えています。



陽西分区

日 時：7月4日（土）17：00～

会 場：ヨークベニマル戸祭元町店

参加者：9人

グッズ仕分けを7人で行いました。

17時からヨークベニマル戸祭元町店の駐車場で、社明グッズ袋を買い物客に配りました。



陽南分区

陽南分区は、4月の総会で社明グッズの配布を昨年同様7月の夏祭りで行うことを決めました。6月に有志でうちわとティッシュを袋詰めし、談笑しながらの作業は分区の交流の場となりました。

7月13日、砂田町稻荷神社、7月25日、陽光小・緑が丘小の盆踊りで配布し、行き交う人や子供会、親子連れに喜ばれました。



西部分区

当分区は、吉澤定雄分区長のもと9人体制です。これから2人の方が新会員となります。地域の方々がお互いにあいさつできる関係になることで、お互いに支えあう気持ちが醸成されます。「社会を明るくする運動」も保護司、対象者そして地域の方々とのつながりを考えるきっかけとなります。各保護司が身近なところでグッズを配布することで「社会を明るくする運動」を理解していただけるよう活動しております。





日 時：7月15日 (水) 9:30~10:15

会 場：宇都宮市立清原中央小学校 体育館

内 容：劇団三十六計による寸劇「防犯・安全」

参加者：児童・職員360人 保護司13人

犯罪から命と身を守るための方法を理解し、安全に生活するための知識や行動の仕方を身につける事を目的として実施された。

童話「赤ずきんちゃん」をモチーフに、「イ・カ・ノ・オ・ス・シ」を演じた。

最後に6年生代表のおおねだあいさんが「普段から大切なことをあらためて確認することができた。そろそろ夏休みが始まるが、今日教えていただいたことを忘れずに学校生活を送りたい」とお礼の言葉をのべた。



今年度は昨年度まで行っていた雀宮駅周辺での一般人への社明グッズ配布を見直し、分区内の中学校（雀宮中・若松原中）3年生対象に社明グッズを配布することにしました。その際、本部から依頼されている「トクリュウ型犯罪」についての話とセットにし、「社会を明るくする運動」の理解をより深めるようにしました。今回各中学校の全面的な協力により実施できた催しでしたが、保護司の仕事を知ってもらうと同時に社会を明るくする運動の必要性を大変効率よくわかってもらえたものと思います。



社明グッズの袋詰め

中学生への社明グッズの配布



今年も八坂神社で行われた「天王祭」に合わせて、7月18日に境内にて社明運動グッズを配布いたしました。当日は「栃木県いきいきフェスタinもおか」と日程が重なった為、真岡に参加されたメンバーは17時配布開始直前に駆け込んでくれました。

6月18日の自主研修会終了後に社明運動グッズを袋詰めして準備していたため、スムーズに配布することができました。あいにくの小雨模様でしたが、天王祭に来ていただいた皆様に喜んで受け取っていただきました。

また7月25日に豊郷南小学校で行われた「豊南盆踊り」会場でも多くの家族連れ、子供たちにグッズを配布し、社明運動をアピールすることができました。



日 時：6月18日 (木)...

八坂神社にて社明グッズの配布準備をしました。今年はいちわの他にウエットティッシュやファイル添えて担当する小中学校へお届けして、作文コンクールへの協力をお願いしました。

その他、コミセン等にも伺い、地域の方々へのティッシュ配布を頼みました。7月1日までにすべてのパンフレットも配り、各学校、施設等での先生方やスタッフのみなさんのご対応に感謝しつつ、分区での社明活動は終了しました。



日 時：7月7日 (火) 17:00~

会 場：①梵天の湯 ②サンユウ上河内店

日 時：7月10日 (金) 16:00~

会 場：①とりせん岡本店 ②たいらや岡本店

毎年恒例の社明活動を2日間に渡り上記店舗の入口付近で、出入りのお客様に社明活動意義を若干説明しながらグッズを配布しました。民生委員や更生保護の方々と猛暑の中、33人の方が参加です。お疲れ様でした。



令和8年度 宇都宮保護区保護司会総会開催！

今年度の宇都宮保護区保護司会の総会が、5月13日（水）午後5時00分よりホテルニューイタヤにて盛大に開催された。最初に出席者82人、委任状38通で保護司会員の83%になり、総会成立との宣言があった。開会前に春の叙勲で受章された加藤会長に花束贈呈があり、引き続き会長の挨拶が行われた。挨拶の中で現在の保護司の状況から、持続可能な保護司会に向けた課題認識と対応についての話があった。来賓祝辞では林保護観察所長、市長代理の木村保健福祉部長、佐竹栃木県保護司会長から挨拶があり、議事に入った。

陽東分区の白相さんが議長を務め、議事録署名人・書記の選任後、1号議案「令和7年度事業活動報告」から順次審議が行われた。5号議案まで事務局の説明に特に質問や意見はなく承認された。議事終了後、事務局より事務連絡があり、総会は無事終了した。

その後別室に移り親睦会が行われ、和やかなうちに閉会することができた。



加藤会長挨拶



林保護観察所長来賓挨拶



総会の様子

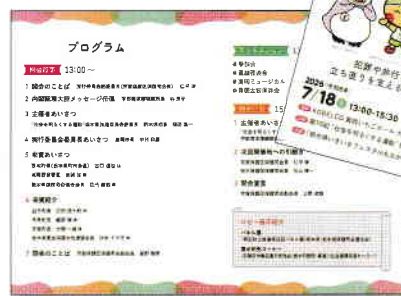
参加してきました『いきいきフェスタ in もおか』

7月18日（土）13:00よりKOBELCO 真岡いちごホール（真岡市民会館）で、県内各地区より大勢の保護司が集まり「いきいきフェスタ in もおか」が開催されました。全館で1,109人収容できる大ホールの1階席のほとんどを埋め尽くし、盛大な大会となりました。

◇開会行事は例年同様、内閣総理大臣メッセージ伝達、県知事による主催者あいさつ、真岡市長による実行委員長あいさつ、来賓あいさつ、来賓紹介と続きました。

◇アトラクションでは真岡ならではの特色を持った4つの団体がそれぞれ個性豊かな演奏を披露していました。少しだけ内容を紹介すると・・・

- ・ 箏桜会…女性7人による琴の演奏。「流星群」「魂のルフラン」の2曲を披露
 - ・ 鳳麟雅楽会…4人による雅楽。「音取」「越殿楽」を披露
 - ・ 真岡ミュージカル…15人の子供たちによるミュージカル。「手のひらを太陽に」から始まりオリジナル曲「真岡もめんの作り方」や「ドレミの歌」など6曲を披露
 - ・ 尊徳太鼓保存会…6人による様々な太鼓の演奏。5曲程度を披露
- どの団体もそれぞれの力を存分に発揮し、会場の人たちに多くの感動を与えていました。



箏桜会



真岡ミュージカル



尊徳太鼓保存会



次回開催地あいさつ

◇閉会行事では宇都宮保護観察所長による主催者あいさつ、次回開催地（栃木保護区）への引継ぎが行われました。

「尚徳会館」の日々の活動について

施設長 市村 昌宏

更生保護施設尚徳会館（以下「尚徳会館」という。）は、宿泊型保護施設で、犯罪や非行をした人が再び犯罪をすることを防ぎ、社会に円滑に戻るよう一定期間受け入れ、宿泊場所を提供するほか、生活指導や就労支援、社会生活に必要な基本的習慣の確立指導などを行う民間の施設であります。特に昨今では、高齢者や障害等により就労自立が難しい人たちを、福祉サービスや関連専門機関に橋渡しを行う役割を積極的に行っております。

尚徳会館の職員は9人です。入所者数は本年6月末時点の定員2,730人に対し2,083人で、収容率は76.3%となっており、1日単位の平均入所者数は定員30人に対し22.9人です。

尚徳会館に入所する対象者は、刑務所等を仮釈放や満期出所した人、少年院を出た人、刑の執行猶予や起訴猶予などになった人で、身寄りや帰る居住地がなく、自分一人では生計を立てることが難しい人が対象になっており、さらに就労自立が目指せる人を原則受け入れております。但し、高齢者や障害をお持ちの人などはこの限りではありません。

尚徳会館において、社会的自立の基盤となる就労支援については、入所者の大多数が「栃木県就労支援事業者機構」の同行・同席等のきめ細やかな支援を受けながら、協力雇用主を中心とした事業所への就職に至り、実数として対象者64

人に対し51人が稼働を開始しております。

また独自で就職活動を行う場合には、ハローワークの当会の専属担当者に相談することで、専門的な対応を受け、おおよそ本人の希望に沿った就職が実現されております。

尚徳会館と宇都宮保護区保護司会との関係は、当会を退所した後も保護観察が継続している者の場合、地域担当の保護司に引き継ぐこととなるため、当会から入所していたときの生活状況や就労状況並びに社会自立目標などの情報提供を行い、共有化を図り、支障なく確実な自立と再犯防止が実現出来ますよう、緊密な連携による強固な協力体制の構築に努めているところでございます。

他の連携として、宇都宮更生保護女性会との連携が挙げられ、年に数回開催される昼食会での家庭的な交流を始めとして、チューリップ球根の植え付けを共同で行い、入所者の孤立化を防ぎ温かい雰囲気の中での自立を支える重要な取り組みを頂戴しております。

なお地域協力として、自治会による秋祭りや敬老会等のイベント開催に対し、当会施設の集会室等の貸し出しを行い、住民相互の交流の場としての一翼を担っております。

さらに市の全市一斉清掃に合わせ、入所者と職員による栃木街道沿いの清掃を行い、微力ながら地域貢献に寄与しているところであります。

また、近隣の住吉保育園児さんによる「社会を明るくする運動」啓発活動の一環であるマスコットのぬり絵の色彩協力は、当会の自慢であり宝物であると確信しております。

今後とも引き続き、宇都宮保護区保護司会の皆さまにはお力添えを賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



尚徳会館



入所者と職員による清掃活動

社会を明るくする運動の一環として栃木県で初めてイエローライトアップが実施されました



栃木県庁昭和館
令和8年7月1日から7月15日
午後7時から午後9時ライトアップ



宇都宮タワー
令和8年7月6日から7月12日
午後5時から午前0時ライトアップ





陽南分区 ^{せんが} 千賀 ^{たかし} 貴司さん

陽南分区の千賀貴司さんをご紹介します。
千賀さんは令和3年に先輩から声を掛けられ保護司を引き受けられました。その時点では保護司の仕事についてはなにも知らなかったそうです。現在までに5人の対象者を受け持たれています。「対象者はどのような印象でしたか」と尋ねると、「思いのほか、素直な少年達でした」と述べ、少年に対するイメージと違った印象を受けた思いを語ってくれました。

千賀さんは、東京葛飾区で小学校まで過ごし、お父様の仕事の都合で栃木県に転住しました。現在は奥様と愛犬と一緒に生活しています。犬は嫌いだったそうですが、奥様の希望で飼うことに決めました。話の内容からは、奥様に対する思いやりや優しさから飼うことを決めたいきさつが伺えました。

千賀さんは宇都宮市役所を定年退職後、社会福祉協議会の老人クラブで専務理事として勤めた後、現在は宇都宮市スポーツ振興財団の理事長として活躍されています。

趣味はマラソンで、始めたきっかけをお聞きますと、医者から「酒をやめるか運動するか」と迫られ、好きな酒はやめられず、運動することを決意。職場で昼休みに走る職員を見て「よし、俺も」と40歳からマラソンを始めたことがきっかけになったそうです。芳賀路マラソンでは大会がなくなるまで毎回出場し、大田原フルマラソンでは4時間という時間制限の中で42.195キロを完走しました。函館マラソンや大阪マラソンにも積極的に出場。自己ベストは42.195キロを3時間14分というすばらしい記録を残しています。ランニングクラブに所属し仲間と走ることの楽しさと、親睦会や合宿の楽しさを満面の笑みで話されます。陽南分区には明朗で芯の強いスポーツマンの千賀貴司さんがいることを皆様にお伝えします。
〈インタビュアー 馬場 友治〉



陽西分区 ^{かねだ} 金田 ^{ひろし} 大史さん



真夏日の午後、冷房が効いたコーヒー店で話を伺いました。金田大史さんは、保護司になって6年目。68才になったそうです。オリオン通りにある、ゆたか(株)陶磁器店のオーナーです。子供は3人で、皆成人され、都会で独立しているそうです。去年初孫が生まれたと、お互いが爺になった話題で話が盛り上がりました。

現在は奥様と2人で暮らしています。

この時季、なかなか時間が取れなかった理由が解りました。

それは、天王祭です。二荒山神社の祭禮です。氏子総代の役職についているのです。最盛時に、この時間を割いていただきました。ありがとうございます。

宇都宮の守り神である神社の運営に携わる重責は、大変でしょうが宇都宮のために、身体を勞りまして職責を全うして下さい。よろしく願いいたします。

金田さんは、陽西分区で副分区長、保護司会では総務部長の職を受けています。いずれも大切な役職ですが、私の目で感じることは、この人に任せておけば、何事も大丈夫という安心感です。頼もしい後輩がいるなと思える人材です。

若い時に少林寺拳法に触れてはいたが、中年を過ぎた50代の頃、人生の師に出会い、現在は、週に2日、師の道場に通い少林寺拳法二段の黒帯です。人づくりの行、心身を養い、お互い協力して生きる「自他共栄」の理念を学ぶ処ですと説明してくれました。この貴重な時間を過し、人としての深み、重みを知りました。

これからも、奥様と2人仲良く、楽しく健やかに、分区、保護司会宇都宮の未来のためにご活躍をと、お祈りいたします。

〈インタビュアー 星野 富男〉

保護司日記

面接の中での変化

担当する事になったSさんはご近所の息子さん。飲酒運転で3年間の保護観察対象者になりました。

両親の事、幼少期の本人の事を知っているだけに不安でした。

【〇月〇日】初回面接から遵守事項である『酒を飲まない』が守れず、本人も飲んでいる事を報告していました。

【〇月〇日】彼のほめられる事は時間通りに来訪する事です。毎回、父母の悪口、嫁の悪口、近所の悪口を話します。ひたすら傾聴するのみです。

【〇月〇日】家には彼に向き合って話を聞いてくれる人がいないので2時間しゃべりっぱなしです。

【〇月〇日】面接の時だけでなく、夫婦げんかしました、父親とけんかしましたなど電話がかかってきます。私に話すだけでストレス解消になっているようです。

【〇月〇日】日々関わっているたびに彼の顔つきがやさしいまなざしになってきています。「日々感謝して生活しなさい。今があるのは家族のおかげだよ。」の言葉も「はい。」と受け入れてくれました。

【〇月〇日】保護観察期間が終了に近づくにつれ、早く免許を取って車に乗りたいと

前向きな発言。

【〇月〇日】昨年末に無事保護観察期間が終わり、今も気になるのですが、彼の家のそばは通れません。

（陽北分区 H・E）



訪問医療に支えられて

元保護司 山川 薫

母に続いて父の介護を終え、卒業証書をいただいたものと思っていたのに……。保護司退任の年、103歳になる義母を大谷町の実家から引き取り、介護に当たる決断を迫られることとなりました。

2024.9.6日。いよいよ老老介護がスタート。責任と覚悟を持って挑まねばなりません。月1回の訪問診療と担当ケアマネージャーからも、継続の了承が得られました。また、毎週火曜日の午後は、「いきいきスポーツ倶楽部」参加のため、妻の妹に支援を依頼。健康づくりのために退職後から始め、今年で17年目になります。妻も途中から参加し頑張っています。

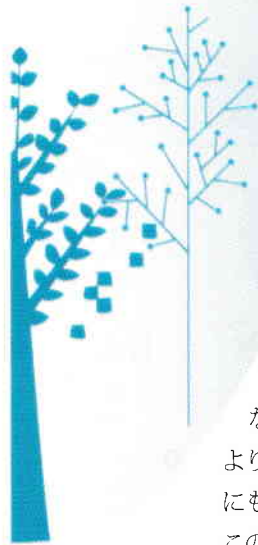
11月からは訪問看護が必要となり、毎週1回30分ですが、とても心強い味方となりました。入れ歯に不具合が生じ、食べられなくなってしまったこともあり、訪問歯科にもお世話になり、救われた思いでした。

翌年の冬を迎えた頃から、「心不全増悪」が悪化。訪問診療・看護ともに回数と時間を増やして対処。しかしながら、食をまったく受け付けなくなり、2週間程が経過。

2026.3.14の朝、春の訪れと共に安らかに永眠。四十九日法要を終え、夫と長男、三女の待つ天国へと旅立たれました。

身体的・精神的な負担を少しでも減らすために頼ってきた訪問医療。案外、間違いではなかったかも知れません。何とか重責を果たし終えることができたようです。

木陰



振り返って思うこと

元保護司 上野 和子

保護司を卒業して6年、定年のない更生保護女性会は続いています。

以前年配の人から、今日行く（教育）、今日用（教養）、仕事に貯金（貯筋）をモットーにしていると聞き、更女活動への参加もだんだん面倒になってきましたが、今日行く（教育）で出かけます。出かければ長年の友だちがいて楽しいですし、一緒にするランチはもっと楽しいです。

県更女の役員を今春で終え、若い人に引き継ぐことができてホッとしています。県更女の会議は観察所で所長、課長も出席されるのでいつも緊張して出かけました。

そもそも保護司という言葉も知らなかった私が、大変お世話になった人からの依頼で受けたものの、新人研修で環境調整をもらって帰り、分からないまま読むと「殺人で刑務所……」ええ～引き受けるのではなかった一。

困ったので分区分長に相談すると、あっさり大丈夫だよと言われ、それから17年何人の対象者と向き合ったか覚えていませんが、やっかいだった最後の人が引致されたのには驚きました。

保護司、更女にいて、今までにかけがえのない友だちがたくさんできて感謝、感謝です。

今まで楽しんでたスキーも転んだら起きられなくなり、樹氷も霧氷も見られなくなりました。スキーに行くより温泉旅行が増え、何をしてもかけ声が自然に出てしまうこの頃です。



産まれてくる子のために！

【〇月〇日】M君は別に住む祖父母に付き添われ現れた。大人しそうな青年で、祖母から「よろしくお願いします」と頼まれた。発達障害のため、共犯者から万引きを指示され断れず、数度の窃盗を働いてしまった事案である。

【〇月〇日】初めての面談で、アパートでの同居人や共犯者も含めた交友状況、仕事等について詳しく確認した。本人は宅配の仕事で同居人は本人の彼女を含め6人。

【〇月〇日】初めてアパートを往訪した。彼女を除く4人は夜逃げしてしまった。

2LDKの広い間取りだが、室内は足の踏み場もないほど荷物が散乱し、落ち着いて話をするような環境ではないことに驚いた。

【〇月〇日】彼女が体調不良で病院に行ったところ、妊娠2ヶ月と診断されたとのメールが入ったので、無理をさせないようにアドバイスした。

【〇月〇日】妊娠5ヶ月で安定期に入ったので、彼女に同席を頼んで往訪した。子供が生まれると生活も大変なので、実家のお父さんや祖父母に相談し協力をしてもらうように二人に話した。彼女はハキハキとしゃべるタイプなので、上手くM君をリードしてくれればと感じた。

【〇月〇日】彼女が親代わりの祖母に直接連絡し、子供が産まれることを報告、了解してもらったと聞き、ビックリした。その後、法事のため彼女を連れて父や祖父母が住む実家に行き、親族に彼女を紹介したと報告を受けた。

【〇月〇日】生まれてくる子のために、実家に彼女とともに戻ることにし、地元の宅配会社に勤める予定とのこと。身内のそばで生活することが、発達障害を持つM君にとっては最上の選択と感じ、私の手から離れることになるが賛成した。その後、祖母から「大変お世話になりました」との電話を頂いた。（北部分区 A・N）

事務局 ニュース

地域別定例研修会（第Ⅰ期）

中 央	6月 2日 (火)	東 部	5月19日 (火)
陽 東	6月18日 (木)	南 部	6月12日 (金)
陽 南	6月20日 (土)	西 部	6月25日 (木)
陽 西	6月15日 (月)	北 部	6月26日 (金)
陽 北	6月18日 (木)	河 内	6月13日 (土)

※今回の研修会のテーマは「面接について」およびフリーディスカッションでした。

【退任保護司】 令和8年度前期

(敬称略)

氏 名	分区	就任年月日	在任期間
福 村 啓 一	北 部	H 16. 5.25	22 年
廣 瀬 路 子	北 部	H 25. 5.25	13 年
嶺 緑	河 内	H 30. 5.25	8 年

長い間お疲れ様でした

- 第5回理事会(4/22 宇都宮保護観察所 22人)
- 令和8年度定期総会・懇親会開催
(5/13 ホテルニューイタヤ 82人)
議題・令和7年度事業報告、決算・監査報告
・令和8年度事業計画、予算案
・会則の改正及び会費の改定
終了後、懇親会
- 新任保護司辞令交付 (5/25 7人)
- 会計担当者会議 (6/1 14人)
- 新任保護司オリエンテーション
(6/9 尚徳有隣会 9人(新任5人))
- 第1回理事会 (6/17 宇都宮保護観察所 24人)
- 市パネル展 (6/29～7/2 宇都宮市役所1階市民ホール)
- 市社明市民のつどい
(7/11 宇都宮市役所大会議室 5人)
- 栃木県いきいきフェスタinもおか
(7/18 真岡いちごホール 30人)
- 第2回理事会 (8/28 宇都宮保護観察所)

新任保護司 (R8.10.15 付)

アンケート内容

- ①趣味・特技 ②好きな言葉 ③抱負



はねいし ゆきこ
羽石 幸子

中央分区
研修部会

- ①何でも食べられること
- ②思い通りにはいかない。それでも幸福はある。
- ③始めてみないと分からない。そして、何とか成ると思っている。



かしわむら えみ
柏村 恵美

陽西分区
協力組織部会

- ①花巡り・ハイキング・折り紙・健康麻雀
- ②ありがとう
- ③個人を尊重し、幸せや未来について共に考え、伴走し、明るい地域社会の一助になりたい。



きむら たろう
木村 太郎

陽西分区
総務部会

- ①読書
- ②喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣く
- ③皆様にお支えいただきながら精一杯努めてまいりたいと思います。



ながくら かおり
長倉 可織

陽南分区
研修部会

- ①バレーボール
- ②日進月歩
- ③何度でも何歳からでも人は挑戦できます。前を向いて自分の力で歩んで行けるよう、対象者に伴走して参ります。



さの ちさき
佐野 智咲

東部分区
犯罪予防部会

- ①読書、カフェ巡り、文通
- ②ありがとう
- ③対象者の方の生活や地域を少しでも明るくすることに貢献したいです。



さかもと みさこ
坂本 美佐子

西部分区
犯罪予防部会

- ①音楽鑑賞・温泉めぐり
- ②日進月歩
- ③先輩方から助言をいただきながら、地域で信頼される保護司になれるよう、努力していきたいと思っています。



たむら たけし
田村 剛士

北部分区
犯罪予防部会

- ①山歩き・盆栽・スポーツ観戦
- ②あせるな 怒るな 威張るな 腐るな 負けるな
- ③温かい対話で立ち直りと社会復帰を支援

よろしく
お願いします

敬 弔

菅 原 一 浩 様 (河内分区)

令和8年4月20日(月)逝去

又 木 鉄 心 様 (陽北分区)

令和8年5月24日(日)逝去

住 倉 幸 和 様 (西部分区)

令和8年6月2日(火)逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

令和8年度 広報部員

担当副会長		豊田 善作	
中央	小池 薫	東部	田崎 都子
陽東	中山 敬子	南部	津野田誠一
陽南	上野 節子	西部	小林 綱芳
陽西	星野 富男	北部	平野 朱美
陽北	澤田 明彦	河内	原 啓

R8. 5. 現在

編集後記

★117号も無事に発行出来ました。原稿依頼を引き受けて下さった皆様に心より感謝申し上げます。

★ところで「酷暑日」が2026年4月17日に気象用語になりました。皆さんも健康には充分ご注意ください。